

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

つなぐ、ちから



知 的・発達障害のある人たちの権利擁護と政策提言を行うため、全国55の育成会と、育成会と歩調を合わせる事業所協議会の連合体である全国手をつなぐ育成会連合会。2020年には一般社団法人格を取得し、幼少期から高齢期まで、知的・発達障害のある人やその家族が直面する問題の解決に、さまざまな角度から取り組んでいます。

障害があってもなくても、あるいはどんな背景をもつ人であっても、その人らしく生きていける社会。

そんな明日を目指して、わたしたちは活動しています。

わたしたちの活動

全国の会員（正会員・賛助会員）のみなさまの会費やさまざまな協力に支えられ、わたしたちは次のような活動に取り組んでいます。

○権利擁護

虐待防止や差別解消、成年後見制度の見直し、参政権の行使など、知的・発達障害のある人の権利をまもるための枠組みについて検討し、発信します。また、共生社会の実現に向けて、社会的なアピールなども行います。

○政策提言

福祉や労働、住宅、交通、教育など、知的・発達障害のある人の生活や権利擁護などに関わるさまざまな分野で国の審議会・検討会に参画し、あるいは議会への働き掛けなどを通して政策提言を行っています。

○本人活動

知的・発達障害のある人の主体的な活動を支えるため、各地の本人活動団体のつながり構築や発信を支援していきます。

○国際連携

わが国における国際育成会連盟（Inclusion International）の窓口として、あるいはアジア太平洋地域の育成会活動で中心的役割を担う存在として、国際的なネットワークの中で活動を進めます。

○災害対応

大規模災害および感染症拡大等に対し、知的・発達障害のある人やその家族の救援や生活再建を支えるため、状況調査や物資手配、人員派遣などを行います。こうした活動の原資として、募金活動を行うとともに基金を設けています。

○情報発信

機関誌『手をつなぐ』やウェブサイト、SNSなどを介して、関係する法制度や時事ニュースといった情報をわかりやすく会員向けに届けます。

育成会は、全国47都道府県で知的・発達障害のある人や子どもに関する福祉活動を展開しています。みなさまからの特別賛助会費が、こうした各地域の育成会活動を支え、知的障害者の福祉向上に役立っています。



全国手をつなぐ育成会連合会では、全国各地を持ち回りで年に1回、全国大会を開催しています。知的・発達障害のある人自身も多数参加して、大変な盛り上がりを見せるイベントです。みなさまからの特別賛助会費が、全国大会の開催を支えています。



全国各地の育成会では、共生社会の実現を目指し、知的・発達障害のある人と地域住民のみなさまがふれあう場、交流する場を積極的に開いています。みなさまからの特別賛助会費が、共生社会の実現、サステナブルな社会の実現を後押しします。





特別賛助会員向けプログラムも多数ご用意

特別賛助会員のお申込は、添付の申込書をご利用ください。加入口数に上限はございませんので、ぜひ複数口のご加入をお願い申し上げます。

また、加入口数に応じて御社のSDGs・サステナブル戦略や社員向け福利厚生などに役立つ特別賛助会員向けプログラムも多数ご用意しております。

お問い合わせは下記連絡先までお願い申し上げます。

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

- | | |
|-----|---|
| 設立 | 令和2（2020）年4月 |
| 代表者 | 代表理事 佐々木桃子 |
| 会員数 | （正会員）全国56団体 （総会員数）約10万人 |
| 所在地 | 東京都新宿区西新宿7-17-6 第三和幸ビル2F-C |
| URL | http://zen-iku.jp 電話 03-5358-9274 |
| メール | info@zen-iku.jp ファクス 03-5358-9275 |
| 沿革 | 1952年 知的障害のある子どもの3人の母親が運動を開始、
精神薄弱児育成会発足
1955年 社団法人全国精神薄弱児育成会設立
1956年 機関誌『手をつなぐ親たち』創刊
1959年 社会福祉法人格を取得
1995年 全日本手をつなぐ育成会に名称変更
2014年 全国手をつなぐ育成会連合会設立
2020年 一般社団法人格を取得 |

